

第2次 中期事業計画書

(令和6年度～令和8年度)

(令和6年4月)

公益社団法人瑞穂町シルバー人材センター

1 策定趣旨と期間

少子高齢化が急速に進展し人口が減少する中で、働く意欲がある高齢者がその能力を十分に発揮できるよう、国においては法改正などの環境整備を図っている。

当センターでも会員の高齢化と減少が課題であり、高年齢者雇用対策に適合しながら事業運営を進めていく必要があるため、町の高齢者保健福祉計画（3か年計画）に合わせて令和3年度から3か年の中期計画の策定を行った。この達成状況を反映した第2次中期計画を策定し、方針の確認や見直しを実施しながら事業運営の指針として定めるものとする。

2 現状と課題

(1) 在籍会員の高年齢化と会員不足

会員の平均年齢が75歳、新入会員の平均年齢も70歳と高年齢化している中、企業等の雇用延長も重なり新たな会員確保が難しくなっている。会員数を増やしていくためには、入会の促進と退会の抑制が最重要課題であり、長く働き続けられる体制と就業以外の魅力づくりが必要となっている。

(2) お客様と会員の満足度向上

会員の安全を確保しながら、請負作業の確実な履行とお客様への接遇も意識した、満足度の高いサービス提供をしていきたい。そのため、会員の資質向上に努め、その評価をお客様からアンケート等を通じていただき、サービス向上に向けて反映していく。

3 中期事業計画の目的

センター事業の原点である会員による主体的運営を実現できるよう、センター全体で課題意識を持ち、みんなが自分事として方策を実行し解決していくことが必要である。

そのためには、適切な目標設定及び管理、単年度ではなく将来を見据えた中期計画の策定を行い、実行、検証、改善を繰り返し行い事業発展につなげていく。

4 中期事業計画（3か年計画）の実施

- ・ 令和6年度

重点項目ごとに関係委員会で計画（目標）を設定し、実施可能なものから実行していく。

- ・ 令和7年度～8年度

新規業務の立ち上げや業務改善を実施し、年度末に検証と評価、次年度以降の改善につなげていく。

中期事業計画

I 重点項目

- 1 入会促進と退会抑制（会員確保）
- 2 就業開拓（新規就業の創出）
- 3 安全就業の徹底
- 4 地域への貢献活動
- 5 組織の意識改革と業務改善

II 数値目標（令和8年度）

- 1 会員数 450人
- 2 契約金額 250百万円
- 3 年間平均就業率 78%

Ⅲ 重点項目ごとの計画

1 入会促進と退会抑制（会員確保）

（1）入会促進

入会説明会の多様な方式による開催

（出張型入会説明会、オンライン入会説明会等）

（2）退会抑制

シルバーメイト制度の活用

会員向けサービスの向上

（ホームページやスマートフォンを活用した就業情報の定期配信）

（3）広報活動

①ホームページを活用した情報発信

②瑞穂町の広報紙及びケーブルテレビ番組と連携した情報発信

（4）サークル活動の推進

サークルグループの立ち上げと自主的な運営

2 就業開拓（新規就業の創出）

（1）女性会員向け就業内容の充実

（2）既存契約における規模拡大や新規就業の創出

3 安全就業の徹底

（1）会員の高齢化に合わせた安全対策の推進

・夏場作業の制限

・高齢会員面談の実施

（2）各就業現場における危険予知活動の定着化

（3）傷害・賠償事故への対策

4 地域への貢献活動

(1) ボランティアグループの立ち上げ

会員による自主的な地域活動の立案

5 組織の意識改革と業務改善

(1) 理事会及び各委員会活動の活性化

- ・ 地域ニーズの把握と役員による主体的な企画立案
- ・ 役員を中心とした委員会活動の活性化

(2) 職員の資質とモチベーションの向上

- ・ 活力ある職員の育成
- ・ 人事考課制度の活用と面談の充実

(3) 危機管理体制の強化

- ・ 危機前における備えや減災、危機発生時の対応などのリスク管理
- ・ 危機の影響を最小限に抑え、危機状態からの回復を図る危機管理
- ・ 苦情処理体制の整備

(4) 事務の効率化と就業現場の把握強化

- ・ P D C Aサイクルを意識した事務の効率化
(Plan…計画 Do…実行 Check…検証・評価 Action…改善)
- ・ 職員による現場パトロールの強化 (現場ニーズの把握と改善)